

広報誌で紹介した写真または
データを希望者に提供します。

●お申し込み●

秘書課広報広聴係 ☎ 23-3069 へ

光ケーブルによる待望の高速インターネットが実現

(11月23日)



テレビ電話対談



インターネット体験コーナー

町商工会と西当別に高速インターネットの実現を目指す会の主催で高速ブロードバンドサービス開通記念イベントが西当別コミセンで開催され、町民約300人が来場し高速インターネットを体験しました。

当日は、開通セレモニーとして高橋はるみ知事と泉亭町長のテレビ電話対談が行われました。高橋知事は「道内では、光ケーブルによるサービス提供は24の市町村しかありません。住民が主体となった誘致活動により早期実現できたのは大変喜ばしいことです」とお祝いを述べ、泉亭町長は「これからはITをいろいろな分野で活用したまちづくりを積極的に進めていきたい」などの会話を行いました。また、各ブースの高速インターネット体験コーナーや映画上映コーナーは、たくさんの人で賑わっていました。

農業経営体と意見交換会

(11月5日)



今年から始めた農業の経営体による営農について話し合う経営体と町との意見交換会が開かれました。

町長は「これからは『当別町水田農業ビジョン』に示されているように、整備された大切な農地を不耕作地とすることなく、高齢者も小規模農家も農業が維持出来るように組織化した営農が不可欠で、経営体自らが『加工や販売』を行い農業生産額の向上を目指すことが必要」と説明しました。経営体代表者からは、今年の経営体の状況や問題点などが出され、今後に向けた話し合いが活発に行われました。

「町長に質問します」子ども議会

(10月26日)



今年で3回目となる「子ども議会」が開催され、町内中学校から代表22人が町議会議場に集まりました。

松尾選挙管理委員長から当選証書を一人ひとりに手渡され、議長には菅原一馬くん(当中3年生)、副議長に國見里紗さん(西当中3年生)が選ばれ、議事運営に当たりました。

質疑に先立ち新潟県中越地震の義援金募金についての緊急動議が提出され、満場一致で可決されました。

また一般質問には「なぜ市町村合併をやめたのか」、「給食メニューの焼き魚が焦げすぎている」などあらゆる分野から10人が質疑に立ち、泉亭町長や高橋教育長が丁寧に答弁を行いました。

強盗！ 冷静な対処で防犯訓練

(11月16日)



中小屋郵便局で行われた強盗防犯模擬訓練。窓口業務の局員に北警察署員が扮した犯人が拳銃を向けて現金を要求し、その後逃走。局員は防犯ベルを押し110番通報するなど緊迫した中で行われ、歳末の犯罪防止に気を引き締めていました。

笑顔こぼれる「ふれあい会食会」

(11月10日)



槍投げゲーム



昼食作り

町社会福祉協議会は配食サービスの利用者と配食ボランティアが交流する「ふれあい会食会」を開催しました。現在、一人暮らしなどで配食サービスを利用している方は約60人で、88人のボランティアが交代で昼食を配るほか安否の確認などを行っています。

この日は、ゆとろを会場に、配食サービスの利用者19人とボランティア23人が参加し、槍投げゲームやビンゴゲームを楽しみ、なるさわゆみさんのアコーディオン演奏を聴くなどして、交流を深めました。また、7人の配食ボランティアの方々が料理した押し寿司などを参加者全員でテーブルを囲み昼食を取り、普段よりにぎやかな食事に会話も弾みにこやかな表情が印象的でした。

当別町赤十字奉仕団(田村則委員長)が創設40周年記念式典を白樺コミュニティーセンターで開催しました。

ろうそくを手にした20人の団員がステージ上がるキャンドルサービスで幕を開け、20年以上奉仕活動を続けてこられた方などに分区長である泉亭町長から感謝状が渡されました。

同奉仕団は、友愛セールや神社・墓地の清掃、災害地への義援金送金など幅広い活動が続けていて、田村会長は「奉仕団員の信条を守りこれからも奉仕の心を継承していきたい」と決意を新たに挨拶されました。



「人道・博愛」胸に40年の歴史

(11月12日)

お笑いから学ぶ環境問題

(11月17日)



町保健衛生会は昭和24年設立され、ゴミ拾いや花の種、球根の配布など、環境衛生の改善や美化活動に取り組んでいます。

この日は、同会の設立55周年記念講演会「環境問題はお友達」がゆとろで開催され、町民約100人が故・林家三平一門の林家ライス・カレー子さんの身近な環境問題を織り交ぜた歯切れのいい漫才を楽しみました。最後に町が実施予定の家庭ゴミを減らす取り組み「分けて、減らして100グラム運動」を題材に『なぞかけ』を披露し会場の大きな笑いで締めくくりました。

色とりどりにお花をアレンジ

(10月31日)



当別花卉生産組合(須藤正昭組合長)は、フラワーアレンジ講習会を田西会館で行い、町民約70人が参加し、町内生産のユリやチューリップ、カスミソウのほか、ほうずきや小さなかぼちゃなど色とりどりの小物を使い、フラワーデザイン会社講師の指導でリース型のフラワーアレンジを楽しみました。

須藤組合長は「今年は、台風の影響で例年より花の種類が少なかったけれど組合員と講師の方の協力で開催ができた。これからも当別の花をPRしていきたい」と語っていました。